

年頭挨拶

連合町内会会長

山岸 重夫

御所野の皆様 あけましておめでとございます。

ご家族おそろいで、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃から町内会を通じ連合町内会活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、御所野街びらきから、間もなく四半世紀を迎えようとしています。平成23年3月に都市開発機構の事業が終了し、今年3月末をもって営業所閉鎖が決定しています。事業主体の撤退に伴い、これからの街づくりは、地区住民が主体となつて取り組む必要があります。

また、外旭川地区にイオンタウンの構想等もあり、この動向も私たちにとっては気がかりになる点です。諸先輩のご努力により快適な街が出来ましたが、四半世紀を経て大きな転換点を迎えていく感じがします。



御所野地区の街づくりの変遷と今後の課題

平成元年6月に御所野ニュータウンの分譲開始(街びらき)以来、まもなく四半世紀を迎えようとしています。

タウンセンターをはじめ公共施設(学校・金融機関・コミュニティ施設・交番・公園等々)が徐々に整備され今では快適な街が誕生しています。

しかし、開発直後よりバブル経済の崩壊や長引く経済の低迷が続き、開発計画は二度にわたり修正され、平成22年度には都市再生機構(UR)の事業が完了し、街づくりに一区切りがつかしました。この間、事業主体のUR(旧地域振興整備公団)や、事業要請した県・市の支援のもと着々と街づくりが進んできました。特に各施設が完備するまでの10年間くらいの間は、先発町内をはじめ連合町内会の果たした役割は多大なものがあり、先輩諸氏のご努力に敬意を表します。

前述の通りURの事業は22年度(23年3月末)で終了しま

した。23年度より開発事務所は営業所に降格し、現在は売れ残り物件の販売のみを行っています。(現在、住宅地12区画・業務用地9区画)

現在も地区の皆さんから施設改善等についてURに要望してほしいとの申し出がありますが、業務の大半は秋田市(二部秋田県)に移管されており、今後の地区内の諸要望は行政に依頼することとなります。

四半世紀に及ぶ街づくりの中で、先発町内と後発町内とは20年の時差があり、街づくりの理念や取り組みに関し認識のずれが懸念されます。

今後、街づくりの原点を共有し、これから想定される諸課題に共通認識のもと取り組んでいければと考えています。

今後の課題

一、平成17年12月に地区計画が決定し、建築協定は廃止となりました。地区計画は、建築協定に若干の修正を加えたもので、建築協定の基本は継承されています。この地区計画に該当しない元町四丁目・堤台二丁目、

自町内で街並みの保全を図る必要があり、特に、元町四丁目の60棟を超えるアパートが老朽化したときの対策は大きな課題と思えます。地区計画導入済み地域においても物件売買により、地区計画を知らない住居者によって改装や塀・立木等不適合な造形とするケース等の課題もあります。

また、緑化(緑地)協定は存続しており、基本は、敷地内のシンボルツリーの樹種を決めている

・街にふさわしい樹木や草花を植栽する

・植木等は維持管理する

・敷地の囲障は生垣とする

の4項目です。緑豊かで潤いのある環境づくりのための協定です。

二、御所野地区は他の地区に無い整然とした街並みや、ゆとりある歩道、その他公園や諸施設が完備しておりますが、経年劣化等により修繕が必要な歩道や施設がたぐささんあります。

三、街びらきから四半世紀が経過し、落ち着いた町並みが誕生しました。しかし、当初から発足した町内では

高齢化が進む一方、当初子供と同
居予定で購入した住宅に同居せ
ず、老々世帯、高齢者単身世帯が
目立ってきました。この大きな課
題は、街を衰退させないための街
づくりの構築にあり、何より必要
なのは、若年世帯の呼び込みと定着
にあります。そのためには交通ア
クセスの更なる向上とタウンセン
ターの死守が必要と思われま

私たちの街づくり

ナナカマドに込められた

URの想い

副会長 原田 吉清

私たちの御所野も開発がスタート
してから、間もなく29年を迎えます。
そして、開発の主体として地域開
発を担った都市再生機構も25年3月
の事務所閉鎖が決定されたよう

す。

- 私たちの街は
- ・美しく魅力ある都市景観
 - ・緑地協定と建設協定に守られた花と緑と野鳥のさえずる潤いのある生活空間
 - ・街の中央にゴルフ場、公園、ショッピングモールを配し、周りを戸建て住宅が整然と建ち並ぶ環境に優れた街
 - ・防災都市としてハード、ソフト

両面が充実した街

- ・コンパクトシティを目指す秋田市の南部地区の地域中心としての都市機能が徒歩圏内に整備されている街
- ・教育機関が充実している街
- ・結節拠点(空港インターチェンジ、R13など)に近接する交通の要衝

多くの企業が立地する職住近接の街

と国内屈指の理想的な街に発展しました。そしてこれからは、この優れた地域のエリア・マネージメントは秋田市と地域住民の協働体にならるものと思われま

す。

これからの「街づくり」にとつて

- ・御所野の価値の再確認と地域への誇りと愛着
 - ・理念と実践
 - ・街づくりを担うヒトづくり
 - ・3つが何よりも重要になります。
- 地域のシンボルとして街路や住宅地に植えられたナナカマドはヨーロッパの古代民族ケルト人にとって
- ・活性化の木であり
 - ・人生に彩りと、そして創造的な営みの必要性を教える木であり
 - ・癒しの力を持つ木、何よりも詩

や音楽など芸術を生む聖なる靈感を与える木であり

- ・誘惑や病氣から守る木であり
- ・今に伝えられるタータンチェックの鮮やかなコントラストを生んだ木でもあります。

URはこの木をシンボルとするこ
とにより、これからの「街づくり」
に、心豊かで理想的な社会の実現を
期待したのだと思います。これから
は、全てが縮小する人口減少社会に
あつて唯一伸びるのが余暇時間であ
り、「健康寿命・余暇と生きがい・
新しい幸福の定義」など豊かな心を育
む社会の実現が求められるのではな
いでしょ

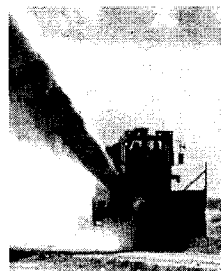
降雪期の除排雪について

今期の除排雪について、秋田市と
意見交換会を開催しました。除排雪
の基本は積雪10cm以上の降雪、パ
ス道路等の基幹道路、通学歩道を優
先し、生活道路は一車線の確保など
です。その他については、秋田市広
報で周知されておりますので一読願
います。

また、御所野地区は今期について
もモデル地区となつていますが、モ
デル地区だから道路の端までできれ
いに除排雪することと思われている
方々が多くいます。モデル地区の基
本は、秋田市と連携を密にするため、

各町内会長をリーダーにした連絡体
制の強化と住民自ら除排雪するな
ど、地域協働の力が大きく関わるこ
とです。降雪量が大きく皆様には大変
な苦勞となりますが、除排雪につい
て要望等がありましたら、各町内会
長に一報し

ていただ
くよう、よろ
しくご協力
をお願いします。



地域要望について

連合町内会として、毎年各町内会
からの要望・意見を要望書として秋
田市に提出してきました。昨年は、
地蔵田四丁目と五丁目間の幹線道路
の制限速度40km、湯本の総合環境
センター入口付近交差点の信号機設
置など実現を図りました。

また、四ツ小屋駅東側へ駐輪場及
び弥生遺跡展示場の設置に予算措置
を得たところです。緑豊かな街として
植樹された街路樹も所どころ枯れて
おり、植樹の要望については予算化
されましたが、年間5本程度と十分
な手立てとなつておりません。
今年も2月中旬に、地域要望書と
して秋田市に提出しますので、1月
末まで皆様からの情報を各町内会長
へご連絡ください。